

遠山中学校 家庭学習の方法

1年



1年 国語科

1年生は現在、家庭学習の習慣をつけるために「生活ノート」に家庭学習を直接書き込み、毎日提出する約束で取り組んでいます。

しかし、それはあくまで**習慣をつけるためのもの**で、小学校より速い進度、深い内容を習得するにはどの教科もそれだけでは足りません。やはりプラスアルファの家庭学習の工夫が必要です。たとえば、国語の家庭学習としては次のようなことを試みてはいかがでしょうか？

【例】

- ◇ ワークの活用。予習：「とらえる」復習：「考える」のページを活用する。
- ◇ 毎週の漢字テストの練習。毎週最初の授業に書き 10 問、読み 10 問のテストを行います。
- ◇ 授業ノートに授業の振り返りをまとめ直す。
- ◇ 授業中のわからない語句（意味を自分で上手く説明できない語句）をノートにまとめる。
- ◇ 目標を決めて（例えば 1 ヶ月で 3 冊）読書に取り組む。
- ◇ 教科書の説明文や物語を音読する。
- ◇ 読書をした文章で気に入った箇所を書き写す。

1年 数学の家庭学習の進め方

数学は毎回同じ問題が出る訳ではないので答えを暗記するものではありません。**解き方を暗記できるようにしよう。**難しい問題があっても解かないですぐに答えを見るのではなく、**3分間**はその問題と向き合しましょう。答えを写して終わりでは意味がありません。間違えた問題は解き直しをして解けるようにしてください。

○方法

- ・授業で習った範囲のワークを進める。
- ・ワーク2周目以降をノートに解く。
- ・授業中で間違えた問題、わからなかった問題をもう一度解く。
※途中式は必ず書いてください。

わからなかった問題はそのままとせず、先生や友達に聞き、理解できるようにしましょう。
1年生の数学は、2.3年生になっても必要なものなので1年生のうちにできるようになろう！

家庭学習の進め方について【1年 英語科】

英語の知識を定着させ、学力を向上させるためには、**繰り返し学習に取り組む事**が大切です。一度覚えた単語も忘れていたりすることもあります。B ノートを使って、練習した単語や問題を見直せるようにすると良いです。コツコツ取り組むために、まずは基本編から取り組んでみましょう。

理解力が十分に深まり、もう少し頑張れそうな人は、応用編に取り組んでみましょう！

○基礎編

文法の使い方を理解する

- 教科書の板書を自分なりにノートにまとめる
- ワークの文法まとめを読み、問題を解く
- 文法が使われている英文（ワークや教科書内から抜粋）をたくさん書く

単語を覚える

- B ノート(ムーミン)に書き取り練習をする
- A ノートの白いページを使っても OK！
- 日本語→英語 英語→日本語 にするのも GOOD！
すらすら書ける単語は OK 書けない単語は☑をし、練習 後日もう一度確認を行う
- 教科書本文中でどのように単語が使われているか確認する

いろいろな表現に触れる

- タブレット内のアプリやソフトに取り組む
L-gate / CHJeru / Duolingo 等



○応用編

- ALT と会話をする
- B ノート、家庭学習ノートなどに日記を書く（添削してもらう）
- 英語の本や記事を読む（わからない単語や表現を調べながら）
※図書室にも英語の本があります
- 映画（洋画）を吹き替えなしで見る（聞き取れた英語をノートに書く）

理科を学習する前に…

1 学年理科担当

理科を学習する理由は何ですか？

4月 日 (初回)	
3月 日 (最終回)	

理科とは、一言でいえば自然について学ぶ教科です。目に見えない小さな世界から、広大な地球環境までと扱う範囲はとても広いです。範囲の広い理科を、中学校3年間でどれだけ勉強できるかというと、授業はいくらあっても足りないのが現状です。中学校3年間では、以下の内容を学習します。

	物理・化学	生物・地学
1年生	物質のすがた 身近な物理現象	生物の世界 大地の変化
2年生	化学変化と原子・分子 電流とその利用	生物の体のつくりとはたらき 気象のしくみと天気の変化
3年生	運動とエネルギー 化学変化とイオン	生命のつながり 自然界のつながり 地球と宇宙
	地球の明るい未来のために	

理科の授業にのぞむ心構え

<授業開始時>

- ・教科書、ノート、ワーク、のり（＝4点セット）を準備する。
 - *理科室の場合は、持ち物が指定されることがある。
 - *理科室での忘れ物が多くなっています。必ず、持ち物には名前を書きましょう。
 - *タブレットは、指示があるまで机の中に保管しておくこと。
- ・理科室の場合も、2分前着席を徹底する。

<授業中>

- ・授業の約束事を守って、集中して取り組む。
 - *約束事が守れない場合は、観察・実験を中止することもある。
- ・自分の考えをもつ。
- ・級友の考えにしっかり耳を傾け、自分の考えと比べる。

<授業終了後>

- ・「なぜ?」「どうして?」と思ったことは調べたり、授業の内容を復習したりする。

理科ノートの約束

- ①B5版ノートを1冊（リング付×）用意すること（クラス・番号・名前を必ず書くこと）。
- ②プリントはノートに貼ること。
- ③“色の約束”を使って、自分の参考書を作ること。

色の約束	黒板では	ノートでは
ノートに書くことがら	白色チョーク	鉛筆
重要なことがら	黄色チョーク	赤ペン（オレンジペン）
学習課題	青色チョークの下線	青ペン

*黒板に書かれていないヒントや注意事項なども工夫して書くと良いでしょう。

評価について

理科の評価は、3つの観点で行われます。

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価方法（○は評価をつける際に特に注目する点）

	①知・技	②思・判・表	③主体的
取り組み・発表			○
提出物*	○	○	○
観察・実験*	○	○	
小テスト	○		
定期テスト	○	○	

*課題によって注目する観点が異なります。

ワークの使い方

- ・1回目は“学習ノート”に解く（提出する時は“学習ノート”のみ）。
- ・2回目は“本誌”に書きこむ。
- ・3回目以降は、“本誌”の答えを隠して、ノートや紙に解く。

*3回以上解いても解けない問題については、“苦手ノート”を作って書き出すとよい。

家庭学習の進め方

- ・用語や法則を覚える。

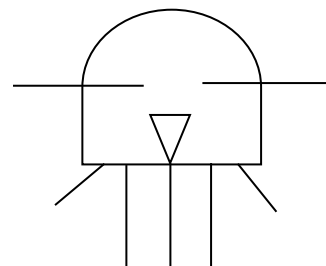
用語と意味の両方が答えられるようにする。

例) 用語	意味
溶解度	一定量の水に溶かすことができる物質の限度の量
結晶	いくつかの平面で囲まれた規則正しい形の固体

- ・観察や実験の復習をする。

方法・結果・実験からわかること・注意事項などを覚える。

- ・ワークの問題を解く。



社会科の家庭学習方法

社会科は「暗記科目」です。一つずつ覚えていくしかありません。覚えていく中で行ってほしいことは、「その言葉が、どのような問題の答えになるのか」ということとセットで頭にインプットすることです。

(例)

覚える言葉	問題文
徳川家康	1603年に、朝廷から征夷大将軍に任命され、江戸幕府を開いた人物は誰か。

「暗記科目」である社会科はインプットしただけで終わってはいけません。それは、少しずつ忘れていってしまうからです。忘れないためには「アウトプット」することが大切です。アウトプットの方法としては、「問題演習」「人に説明をする(伝える)」などがあります。

インプットの方法① 「教科書を読む」

【必要なもの】教科書、蛍光ペン

【流れ】①教科書を読む(1回目)…可能であれば、声に出して読む。

②教科書を読む(2回目)…蛍光ペンを持ち、重要語句(太字)に線を引く。

③教科書を読む(3回目以降)…挿入されている資料(地図、写真、グラフ等)にも目を向ける。

【注意点】●「ただ読むだけ」にならないようにしましょう。

●「一度読んだから終わり」にならないようにしましょう。



インプットの方法② 「先生になったつもりで、もう一度、ノートに書く」

【必要なもの】教科書、授業用ノート、(別のノート:家庭学習帳など)

【流れ】①教科書を読む。

②授業でノートに書いたものをもう一度書く。

・反対側のページに書く。

・別のノートを用意できる場合はそのノートに書く

【注意点】●「きれいに書くこと」が目的にならないようにしましょう。

●「わからない言葉」や「説明できないところ」があった場合は、そのままにはせず、「次の日」に必ず先生に確認をしましょう。



インプットの方法③ 「問題文をつくる」

【必要なもの】家庭学習帳、教科書、授業用ノート、ワークやタブレット(「eライブラリ」のドリル)

【流れ】①授業でノートに書いたものを確認する

②家庭学習帳に上で示した(例)のような線を引き、「覚える言葉」と「問題文」を書く

※「問題文」については、「教科書の文言」や「自分で考えた言葉」、「ワークの問題文」、「eライブラリのドリルの問題文」などを参考にするといい

③「覚える言葉」を隠しながら「問題文」を読み、問題演習を行う

【注意点】●「問題文」は「1つだけ」ということはありません。

●「ワーク」や「eライブラリのドリル」にも定期的に取り組みましょう。